

## 現状・背景

### いじめや不登校などに悩む子どもたちへ

- ・スクールカウンセラーによる心理の面からの支援、スクールソーシャルワーカーによる福祉の面からの支援、不登校対応教員による学校復帰を目指した支援など、課題を抱える子どもや家庭を「チーム学校」として支援できるよう、相談体制を構築してきた。
- ・今、スマートフォンの普及に伴い、若年層の多くがSNSをコミュニケーションの手段として使っている。
- ・SNSを活用した相談体制を構築することが求められている。周りに相談できない子どもたちが、気軽に相談できる窓口を用意し、いじめ等の問題の未然防止、早期発見、早期対応を行ってきたい。

### 障がいのある子どもたちへ

- ・中学校等で通級指導を受けている生徒の増加
- ・インクルーシブ教育システムの理念を踏まえ、高校における通級指導の制度化
- ・市立高校においても、学びの連続性を確保しつつ、生徒一人一人の教育的ニーズに即した適切な指導及び必要な支援が求められる。

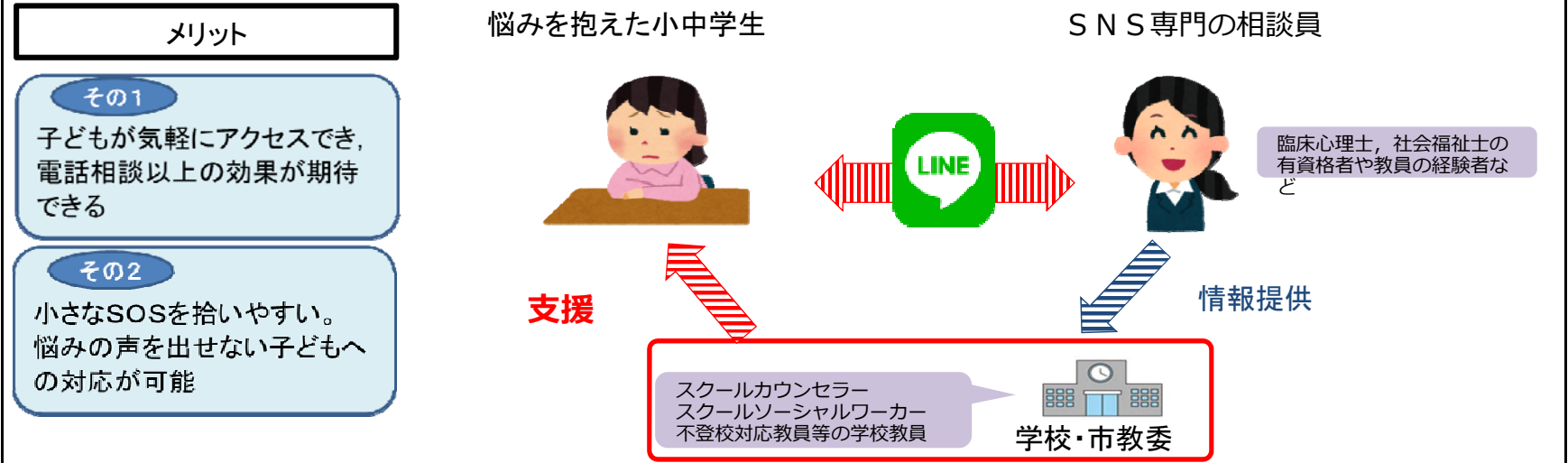
### 医療的ケアが必要な子どもたちへ

- ・障がい者施策の進展を受け、国において、医療的ケア児の対策についての検討が進められてきた。
- ・福岡市では、特別支援学校で対応してきたものの、小中学校にも医療的ケア児が在籍している実情がある。
- ・小中学校への学校看護師の配置について検討を進めてきた。

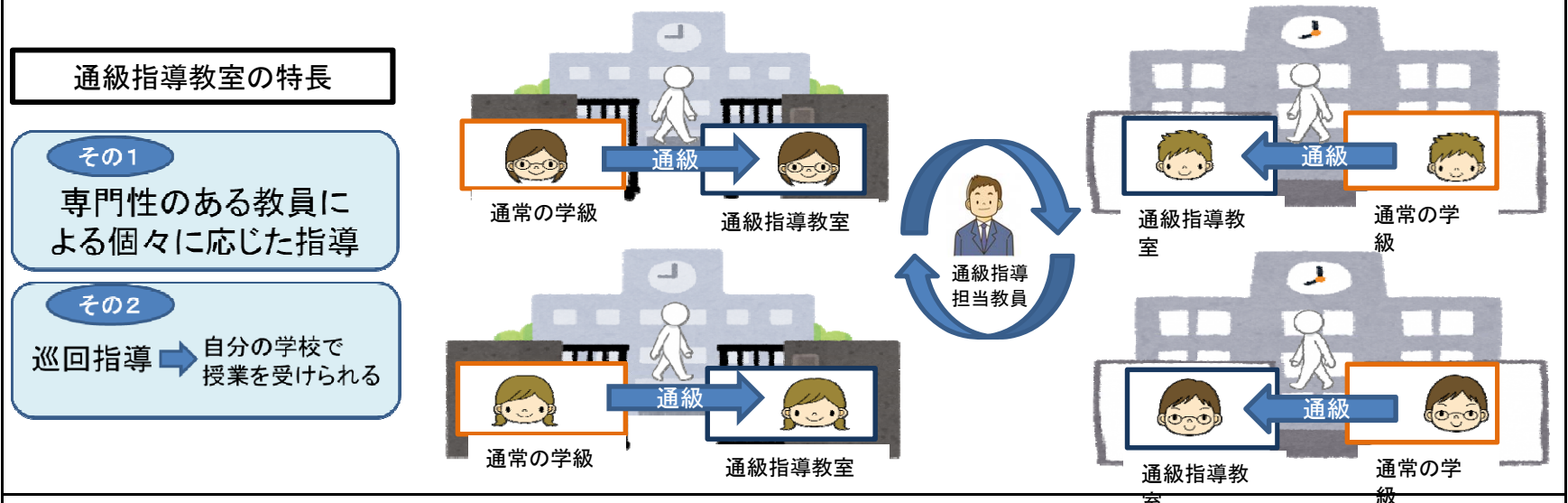
サポートが必要な子どもたちのために

## 平成31年度実施

### SNS (LINE) を活用した教育相談



### 市立高校における通級指導教室の開設



### 小中学校における医療的ケア支援

